



## Numerics

### 1+1 オプティカル カード保護

- 削除 18-49
- 作成 17-69
- 説明 4-12
- テスト 17-88
- 半回線の作成 6-75
- 半回線のプロビジョニング 20-6, 20-7
- 光伝送速度のアップグレード 12-8
- 光伝送速度の手動アップグレード 19-80
- 変更 18-48
- ポートのアクティブ/スタンバイ状態の確認 18-80

### 1:1 電気回路カード保護

- カードの 1:N 保護への変換 18-66, 18-68
- 削除 18-49
- 作成 17-67
- 説明 4-12
- 変更 18-43

### 1:N 電気回路カード保護

- カードの 1:1 保護からの変換 18-66, 18-68
- 削除 18-49
- 作成 17-68
- 説明 4-12
- 変更 18-45

15454\_MRC-12 カード、MRC-12 カードを参照

## A

ADM、リニア ADM を参照

### AIC-I カード

- オーダーワイヤ設定の変更 19-7
- 外部アラームおよび制御のプロビジョニング 8-12
- 外部アラームの変更 19-6
- 外部制御の変更 19-7
- 設定の変更 10-4

取り付け 20-28

ALS モード 18-12

## B

### BER

- 高次回線のテスト 6-74
- 低次回線のテスト 6-59

### BITS

- BITS out 基準 17-63
- タイミングの設定 4-11
- ファシリティ 17-64, 17-66

Building Integrated Timing Supply、BITS を参照

## C

CARLOSS アラーム 6-98

### CE-100T-8 カード

- PM パラメータの表示 20-56, 20-57
- VCAT 回線の作成 6-114
- VCAT 回線の作成、自動ルーティング 6-110
- ソフトリセット 18-3
- 取り付け 2-13
- ハードリセット 18-2
- パフォーマンス モニタリング 9-5
- ポートのプロビジョニング 18-30, 18-34

Cisco IOS、接続のオープン A-7

Cisco MetroPlanner、MetroPlanner を参照

Cisco Transport Controller、CTC を参照

Cisco.com xxviii

CLETOP、ファイバコネクタの清掃 19-5

CORBA 17-61

### CTC

- Alerts ダイアログボックスの設定 17-21
- PC の接続 3-4
- PC の設定も参照
- PC の要件 21-20

- UNIX ワークステーションの要件 21-24
  - アラートテキストの保存 17-24
  - インストール ウィザード 21-20, 21-24
  - オンライン ヘルプを使用 A-7
  - カードの保護設定 4-12
  - 現在のセッションからのノードの削除 17-30
  - 現在のセッションへのノードの追加 17-57
  - 終了 A-5
  - タイミングの設定 4-11, 11-8
  - ツールバーにあるアイコン、ツールバーにあるボタンを参照
  - データの印刷 18-38
  - データのエクスポート 18-40
  - ネットワーク アクセスの設定 4-8
  - ネットワーク アクセスの変更 11-3
  - ネットワーク ビューのカスタマイズ 11-5
  - ノードの設定 4-5
  - バックアップ 15-6
  - ビュー、ビューを参照
  - ファイアウォール アクセス 4-9
  - マウスによるビューの変更 A-9
  - マウスを使用 A-9
  - リモート サイト アクセス 3-7
  - ログイン 3-8, 17-53
  - ログイン ノード グループ 17-55
  - ロック A-5
  - CTC ネットワーク ビューのカスタマイズ 11-5
  - CTC アラートの自動ポップアップ、設定 17-21
- D**
- DB-37 コネクタの取り付け 20-19
  - DCC
    - MS-DCC 終端の削除 20-68
    - MS-DCC 終端のプロビジョニング 20-71
    - MS-DCC 終端の変更 20-65
    - OSPF エリア ID 19-52
    - OSPF のメトリック 19-52
    - RS-DCC 終端の削除 20-66
    - RS-DCC 終端のプロビジョニング 20-69
    - RS-DCC 終端の変更 20-65
    - 終端の削除 11-7
    - 終端の変更 11-7
  - DCC トンネル
    - IP カプセル化トンネルへ変更 17-26
    - 削除 17-27
    - 作成 20-67
- DCN、OSI のプロビジョニング 4-16
- DHCP
  - イネーブル化 19-50
  - クラフト接続の設定 17-43
  - サーバのプロビジョニング 4-8
- DLP、定義 xxv
- DNS 設定 3-6
- DRI、プロビジョニング
  - MS-SPRing/SNCP DRI 5-38
  - SNCP DRI 5-34
  - SNCP および MS-SPRing も参照
  - 従来型 MS-SPRing DRI 5-25
  - 統合 MS-SPRing DRI 5-27
  - 統合 MS-SPRing/SNCP DRI 5-40
  - 統合 SNCP DRI 5-36
- DS3i-N-12 カード、電気回路カードを参照
- Dual-Ring Interconnect
  - MS-SPRing、DRI を参照
  - SNCP、DRI を参照
- DWDM
  - TDM ビューへの切り替え 20-82
  - Y 字型ケーブル保護 4-13
  - ファイバの配線 2-21
- Dynamic Host Configuration Protocol、DHCP を参照
- E**
- E シリーズ イーサネット カード
  - E シリーズ イーサネット カードのモードのプロビジョニング 19-47
  - EtherSwitch 回線 6-79
  - GBIC の取り付け 20-29
  - PM カウントのリフレッシュ 21-37
  - 回線のテスト 6-99
  - 共有パケット リング回線 6-86
  - シングルカード EtherSwitch クロスコネクタ、手動 6-92
  - 取り付け 2-13
  - ハブアンドスポーク回線 6-89
  - パフォーマンス モニタリング 9-5
  - ファイバの配線 2-21
  - ポートのプロビジョニング 19-14, 19-15
  - ポートマップ モードの回線の作成 6-83
  - ポートマップ モードのクロスコネクタの作成、手動 6-101

- マルチカード EtherSwitch クロスコネクットの作成、  
手動 6-95
- メンテナンス情報の表示 15-21
- E1 インターフェイス
  - ポート 1 ~ 21 のピン割り当て 20-21
  - ポート 1 ~ 7 のピン割り当て 20-19
  - ポート 22 ~ 42 のピン割り当て 20-22
  - ポート 8 ~ 14 のピン割り当て 20-20
- E1000-2-G カード、E シリーズイーサネット カードを  
参照
- E1-42 カード、電気回路カードを参照
- E1-75/120 変換パネルの取り付け 1-16
- E1-N-14 カード、電気回路カードを参照
- E3-12 カード、電気回路カードを参照
- End Network Element 18-46
- End System Hello、ESH を参照
- End System、ES を参照
- ES 18-56
- ESH 18-64
- ES-IS、RIB の表示 18-75
  
- F
  
- FC\_MR-4 カード
  - GBIC の取り付け 20-29
  - PM パラメータの表示 21-41, 21-42, 21-43
  - RMON アラーム スレッシュホールドの削除  
21-48
  - RMON アラーム スレッシュホールドの作成  
21-45
  - VCAT 回線の作成 6-110, 6-114
  - スレッシュホールド変数 (MIB) 21-45, 21-46
  - 取り付け 2-14
  - パストレース 19-65
  - パフォーマンス モニタリング 9-8
  - 汎用ポート設定の変更 20-60
  - ファイバの配線 2-21
  - 別の間隔での PM カウントのリフレッシュ  
21-44
  - ポートの拡張 FC/FICON 設定の変更 20-63
  - ポートの距離延長設定の変更 20-61
  - ポートの設定変更とスレッシュホールドの変更  
10-6
  - リセット 15-19, 17-32
- FMEC
  - FMEC カバーの取り付け 1-21
  - カバーのオープン 20-11
  - カバーの取り外し 20-12
  - ケーブルの取り付け 20-19, 20-21
  - 電気回路ケーブルの取り付け 1-19
  - 電源および信号 FMEC の取り付け 1-9
  
- G
  
- G シリーズイーサネット カード
  - GBIC の取り付け 20-29
  - PM カウントのリフレッシュ 21-37
  - 回線のテスト 6-107
  - クロスコネクット、手動 6-101
  - 取り付け 2-13
  - パフォーマンス モニタリング 9-5
  - ファイバの配線 2-21
  - フロー制御の水準点のプロビジョニング 20-59
  - ポートのプロビジョニング 6-104, 19-16
  - メンテナンス情報の表示 15-20
- G1K-4 カード、G シリーズイーサネット カードを参照
- Gateway Network Element 18-44
- GBIC
  - 取り付け 20-29
  - 取り外し 20-33
  - ファイバの配線 2-21
  
- H
  
- Hello インターバル、OSPF 19-53
  
- I
  
- IIH 18-64
- IIOP リスナー ポート
  - 選択 19-50
  - プロビジョニング 17-61, 17-62
- Intermediate System Hello、ISH を参照
- Intermediate System Level 1/Level 2、IS Level 1/Level 2 を  
参照
- Intermediate System Level 1、IS Level 1 を参照
- Intermediate System to Intermediate System、IS-IS を参照
- Intermediate-Path Performance Monitoring、IPPM を参照
- Internet Explorer
  - ログイン 17-53
  - プロキシサービスのディセーブル化 17-51
- IP アドレス
  - LCD による設定 17-57

- NMS 4-14
  - 回線の修復 17-27
  - クラフト接続の設定 17-40
  - ログイン用の IP アドレスの選択 17-55
  - IP カプセル化トンネル
    - DCC トンネルへ変更 17-26
    - IP アドレスの修復 17-27
    - 削除 17-27
    - 作成 17-3
  - IP 設定
    - プロビジョニング 19-49
    - 変更 19-69
  - IP トンネルの修復 17-27
  - IP-over-CLNS トンネル
    - 削除 18-74
    - 作成 18-64
    - 編集 18-73
  - IPPM
    - イネーブル化 18-21
    - 使用理由 18-21
    - ディセーブル化 18-22
    - モニタ対象 IPPM 18-21
  - IS Level 1 18-57
  - IS Level 1/Level 2 18-57
  - ISH 18-64
  - IS-IS、RIB の表示 18-74
- J**
- J0 セクション トレース 7-9
  - J1 パス トレース
    - 作成 7-11
    - プロビジョニング 18-32, 19-64
  - J2 パス トレース
    - 作成 7-11
    - プロビジョニング 20-73
  - Java
    - Plug-in Security Warning 21-1
    - ポリシー ファイル 21-1
  - JRE
    - バージョン 1.4.2 21-20
    - バージョンの変更 21-4
- K**
- K3 バイトの再マップ 17-89
- L**
- LAN**
- MIC-C/T/P のケーブルの取り付け 20-17
  - ONS 15454 SDH との接続 3-6
  - OSI サブネットのイネーブル化 18-63
  - OSPF の設定 4-8
  - PC から ONS 15454 SDH への接続 3-5
  - 接続ポイント、TCC2 カードまたは TCC2P カード  
を参照
  - 配線 1-18
  - ピン割り当て 20-17
  - モデム 3-7
- LCD**
- IP アドレスの変更 17-57
  - アラーム カウントの表示 8-7
  - デフォルト ルータの変更 17-57
  - ネットワーク マスクの変更 17-57
  - ネットワーク設定のプロビジョニング 4-8
  - ポート ステータスの表示 21-19
- LGX インターフェイス 17-36**
- Line Terminating Equipment 18-19**
- Low-Order Aggregation Point**
- VC11 回線 6-11, 6-14, 6-18
  - VC12 回線 6-23, 6-27, 6-31
  - VC3 回線 6-36, 6-40, 6-44
  - 作成 6-55
  - 説明 6-3
- M**
- MetroPlanner、コンフィギュレーション ファイルのインポート 20-81
  - MIB 21-33, 21-45, 21-46
  - MIC-A/P 20-13
  - MIC-C/T/P
    - LAN ケーブルの取り付け 20-17
    - TL1 クラフト インターフェイスの取り付け  
17-76
    - クロック コネクタのピン割り当て 20-16
    - タイミング ケーブルの取り付け 20-16
  - ML シリーズイーサネット カード
    - Cisco IOS コマンドライン インターフェイス  
A-7
    - POS ポート PM パラメータの表示 20-57
    - SFP の取り付け 20-29
    - VCAT 回線の作成 6-110

- VCAT 回線の作成、手動ルーティング 6-114
  - イーサネット ポートの PM パラメータ表示 20-56
  - 取り付け 2-13
  - パフォーマンス モニタリング 9-5
  - ファイバの配線 2-21
  - ML1000-2 カード、ML シリーズイーサネット カードを参照
  - ML100T-12 カード、ML シリーズイーサネット カードを参照
  - ML100X-8 カード、ML シリーズイーサネット カードを参照
  - Molex 96 ピン LFH コネクタ 20-21
  - MRC-12 カード
    - PPM の削除 18-29
    - SFP/XFP の取り付け 20-29
    - 最大帯域幅 2-9
    - 光回線レートのプロビジョニング 18-28, 18-29
    - 光スレッシュホールドの変更 18-12
    - ファイバクリップ 2-21, 18-3
    - マルチレート PPM のプロビジョニング 18-27
  - MRC-12 カード、STM-N カードも参照
  - MS-DCC、DCC を参照
  - MS-SPRing
    - 2 ファイバ、受け入れテスト 5-19
    - 4 ファイバの受け入れテスト 5-22
    - DRI 5-25, 5-27
    - ID または復元時間の変更 13-23
    - K3 バイトの再マップ 17-89
    - MS-SPRing ウィザード 17-12
    - SNCP から 2 ファイバへの変換 13-19
    - アップグレード 12-8, 13-7, 13-16, 13-21, 19-76, 19-77
    - 受け入れテスト、2 ファイバ 5-19
    - 受け入れテスト、4 ファイバ 5-22
    - 拡張バイト マッピングの確認 20-82
    - 強制切り替え、外部切り替えコマンドを参照
    - 切り替えテスト 17-91
    - 作成 5-18, 17-24, 19-42, 21-49, 21-51
    - サブテンディング 5-47, 5-49, 5-50
    - 手動切り替え、外部切り替えコマンドを参照
    - スケルチ テーブルの表示 20-80
    - スパン負荷テスト、外部切り替えコマンドを参照
    - テスト 17-97, 19-10
    - ノード ID の変更 17-21
    - ノードの削除 14-7
    - ノードの追加 14-2
  - ノードのドロップ後のタイミングの確認 18-82
  - 半回線の作成 6-75
  - 光ファイバ ケーブルの取り付け 20-37
  - ファイバ接続の確認 5-15
  - 復元切り替え 13-8, 13-17, 17-13, 21-49
  - プロパティの選択 5-18
  - プロビジョニング 5-15, 5-25, 5-27, 5-38, 5-40, 20-6
  - リングのディセーブル化 18-83
  - ロックアウト、外部切り替えコマンドを参照
  - Multiplex-Section Data Communications Channel、DCC を参照
- ## N
- NE のデフォルト値、ネットワーク要素のデフォルト値を参照
  - Netscape Navigator
    - ログイン 17-53
    - テスト、ノード接続 17-49
    - プロキシサービスのディセーブル化 17-52
  - Network Time Protocol 4-5
  - NTP、Network Time Protocol を参照
  - NTP、定義 xxv
- ## O
- OADM ノード、アイコン A-3
  - OC192/STM64 Any Reach カード
    - STM64-XFP カードも参照
    - STM-N カードを参照
  - OC192SR1/STM64IO Short Reach カード
    - STM-N カードを参照
    - STM64-XFP カードも参照
  - OSI
    - LAN インターフェイス 18-63
    - Router Editor ダイアログボックス 18-62
    - サブネットのイネーブル化 18-63
    - サブネットワーク ポイント オブ アタッチメントの編集 18-72
    - 情報の表示 15-10
    - トンネリング 18-64
    - プライマリ エリア アドレス 18-62
    - プロビジョニング 4-16, 18-56, 18-61, 18-62
    - プロビジョニングの変更 11-4
    - ルータ設定の編集 18-71

- ルーティング モードの変更 18-70
- OSPF
  - インターバル 19-53
  - 設定または変更 19-52
  - ディセーブル化 18-37
  - プライオリティ レベル 19-53
- P
- PC のセットアップ
  - JRE のインストール 21-20
  - ONS 15454 SDH への接続 3-2
  - クラフト接続 17-40, 17-43, 17-45
  - 社内 LAN 接続 3-6
  - ブラウザのインストール 3-2
  - プロキシサービスのディセーブル化 17-51
  - 要件 21-20
  - リモート (モデム) アクセス 3-7
- Performance Monitoring
  - FC\_MR-4 9-8, 21-45
  - FC\_MR-4 カードのパラメータの表示 21-41, 21-42, 21-43
  - Intermediate-Path Performance Monitoring、IPPM を参照
  - ML シリーズのパラメータ表示 20-56, 20-57
  - STM-N カード パラメータの表示 21-2
  - STM-N カードおよびポート 9-7
  - Threshold Crossing Alert、TCA を参照
  - イーサネットカードおよびポート 9-5
  - イーサネット カウントのリフレッシュ間隔変更 19-60
  - イーサネット パラメータの表示 19-58, 19-59
  - カウントの表示 18-24
  - 格納されているカウントのクリア 21-40
  - クリア権限の変更 21-29
  - 現在の (ベースライン) カウントのリセット 18-25
  - 自動リフレッシュ間隔の設定 19-61
  - スレッシュホールドの変更 10-3, 10-6
  - 選択した信号のカウントのモニタ 21-38
  - 手順 9-1?9-9
  - 電気回路カードおよびポート 9-3
  - 表示の変更 9-2
  - ポインタ位置調整カウントのイネーブル化 18-19
  - ポインタ位置調整カウント、ポインタ位置調整カウントを参照
- リフレッシュ 18-22, 18-23, 19-61, 21-37, 21-44
- PM、Performance Monitoring を参照
- PPM
  - GBIC も参照
  - SFP/XFP も参照
  - 削除 10-8, 18-29
  - 事前プロビジョニング 18-8
  - プロビジョニング 10-8, 18-27, 18-28
  - 変更 10-7, 10-8, 18-29
- R
- RADIUS、ノードの設定 18-5
- RAM
  - CTC の PC 要件 21-20
  - CTC の UNIX 要件 21-24
- Refresh
  - その他の PM カウント 18-22
- RIB
  - ES-IS 18-75
  - IS-IS 18-74
- RIP 19-54
- RMON
  - FC\_MR-4 スレッシュホールドの削除 9-9, 21-48
  - FC\_MR-4 スレッシュホールドの作成 9-9, 21-45
  - イーサネット スレッシュホールドの削除 9-6, 21-28
  - イーサネット スレッシュホールドの作成 9-6, 21-32
- Routing Information Base、RIB を参照
- RS-DCC、DCC を参照
- S
- SDH DCC、DCC を参照
- SFP/XFP
  - PPM も参照
  - 事前プロビジョニング 18-8
  - 取り付け 20-29
  - 取り外し 20-33
  - ファイバの配線 2-21
- Shell Access 21-29
- Simple Network Time Protocol、SNTP を参照
- Small Form-factor Pluggable、SFP/XFP を参照
- SNCP
  - DRI 5-38, 5-40, 20-36

- アップグレード 12-8, 13-13, 13-14, 13-16, 13-19, 19-79
- 受け入れテスト 5-31
- 開放端 SNCP の受け入れテスト 5-44
- 強制切り替えの開始 18-84
- 強制切り替えのクリア 18-85
- サブテンディング 5-47, 5-49
- 自動ルーティングによる回線のトポロジー アップグレード 21-53
- 手動ルーティングによる回線のトポロジー アップグレード 21-52
- スパン全体の切り替え A-11
- スパンの保護切り替えテスト 17-99
- ノードの削除 14-14
- ノードの追加 14-11
- ノードのドロップ後のタイミングの確認 18-82
- 半回線の作成 6-77
- 光ファイバ ケーブルの取り付け 20-34
- プロビジョニング 5-29, 5-34, 5-36, 5-38, 5-40, 5-42, 19-12, 20-7
- 編集 19-25, 19-64
- SNMP
  - End Network Element 18-46
  - Gateway Network Element 18-44
  - 宛先の作成 4-14
  - コミュニティストリングのフォーマット化 18-54
  - 設定 4-14
  - デフォルトの UDP ポート 19-75
  - トラップ宛先の削除 18-55
  - トラップ宛先の修正 19-74
  - トラップバージョンの選択 4-14
- SNTP 4-5
- SOCKS プロキシ サーバのプロビジョニング 4-8
- Solaris
  - ONS 15454 SDH へのクラフト接続の設定 17-48
  - ONS 15454 SDH へのケーブルの接続 3-5
  - クラフト接続 17-48
  - プロキシ サービスのディセーブル化 17-52
- SSM
  - STM-N カードでのイネーブル化 18-10
  - イネーブル化、外部タイミングまたはライン タイミング 17-64
  - イネーブル化、内部タイミング 17-66
- STM-1 カード、STM-N カードを参照
- STM-16 カード、STM-N カードを参照
- STM1-8 カード、STM-N カードを参照
- STM1E-12 カード、電気回路カードを参照
- STM-4 カード、STM-N カードを参照
- STM4-4 カード、STM-N カードを参照
- STM-64 カード、STM-N カードを参照
- STM64-XFP カード
  - PPM の削除 18-29
  - STM-N カードも参照
  - XFP の取り付け 20-29
- STM-N カード
  - 4 ポートの STM-4 カード スロット 12-8, 12-13
  - PM パラメータの表示 21-2
  - STM64-XFP カードも参照
  - 回線の設定変更とスレッシユホールドの変更 10-3, 18-9, 20-53
  - 減衰量 2-19
  - 交換 19-48
  - 取り付け 2-8?2-10
  - 取り付け時の LED の動作 2-10
  - 取り付けの確認 4-3
  - バス トレース 19-65
  - パフォーマンス モニタリング 9-7
  - 光スレッシユホールドの変更 18-12
  - ファイバブーツの取り付け 17-38
  - ファイバの取り付け 2-18, 17-36
  - ファイバの配線 2-21
  - 保護 17-69
  - リセット 15-19, 17-32
- STP、スパンングツリー プロトコルを参照
- T
- TARP
  - Manual Adjacency Table エントリの削除 18-65
  - Manual Adjacency Table エントリの追加 18-61
  - データ キャッシュからのスタティック TID/NSAP エントリの削除 18-60
  - データ キャッシュの管理 18-76
  - データ キャッシュへのスタティック TID/NSAP エントリの追加 18-59
  - 動作パラメータのプロビジョニングまたは変更 18-57
  - プロビジョニング 4-16
- TCC2 カード
  - LCD によるレポート 17-59
  - RJ-45 (LAN) ポート 3-5, 3-7
  - TCC2 から TCC2P へのアップグレード 12-6
  - 切り替えテスト 19-55

- 障害回復のためのデータベースのクリア 15-11  
 ソフトリセット 15-19  
 データベースのバックアップ 15-6  
 デフォルトへの復元 15-7  
 取り付け 20-23  
 取り付けの確認 4-2  
 リセット 17-31  
 リブート動作 19-51
- TCC2P カード  
 LCD によるリブート 17-59  
 RJ-45 (LAN) ポート 3-5, 3-7  
 TCC2 から TCC2P へのアップグレード 12-6  
 切り替えテスト 19-55  
 ソフトリセット 15-19  
 データベースのバックアップ 15-6  
 データベースの復元 15-7  
 取り付け 20-23  
 取り付けの確認 4-2  
 リセット 17-31  
 リブート動作 19-51
- TDM ネットワーク ビュー、DWDM ビューへの切り替え 20-82
- Threshold Crossing Alert、TCA を参照
- TID Address Resolution Protocol、TARP を参照
- TL1、接続のオープン A-7
- U
- User Data Channel  
 削除 17-27  
 作成 19-8
- V
- VCAT 回線  
 自動ルーティング 6-110  
 手動ルーティング 6-114  
 プロビジョニング 17-30  
 メンバーのサービス状態の変更 17-78  
 メンバーの削除 17-75  
 メンバーの追加 17-72  
 ルートのプロビジョニング 17-22
- VLAN  
 CTC メニューを使用した管理 A-7  
 E シリーズ ポートのプロビジョニング 19-15  
 イーサネット回線用 VLAN を作成 6-90, 6-94
- 削除 17-29  
 使用可能な VLAN の確認 17-106
- W
- WINS 設定 3-6
- X
- XC-VXC-10G カード  
 アップグレード 12-2, 12-4  
 交換 15-26?15-27  
 サイド切り替えテスト 19-57  
 スロットの互換性 2-5  
 取り付け 20-26  
 取り付けの確認 4-2  
 リソース使用率の表示 7-3
- XC-VXL-10G カード  
 アップグレード 12-2, 12-4  
 交換 15-26?15-27  
 サイド切り替えテスト 19-57  
 取り付け 20-26  
 取り付けの確認 4-2  
 リソース使用率の表示 7-3  
 スロットの互換性 2-5
- XC-VXL-2.5G カード  
 アップグレード 12-2  
 交換 15-26?15-27  
 サイド切り替えテスト 19-57  
 取り付け 20-26  
 取り付けの確認 4-2  
 リソース使用率の表示 7-3  
 スロットの互換性 2-4
- XFP、SFP/XFP を参照
- Y
- Y 字型ケーブル保護  
 削除 18-49  
 説明 4-13
- あ
- アース  
 接続 17-14



- 取り付け 1-12
- アイドル時間 17-70, 17-71
- アクティブ ログイン
  - 終了 18-7
  - 表示 18-7
- アップグレード
  - 1:1 保護から 1:N 保護へ 10-5
  - 2 ファイバ MS-SPRing 19-76
  - DS3i-N-12 カードを 1:N 保護へ 18-68
  - E1-N-14 カードを 1:N 保護へ 18-66
  - MS-SPRing 13-21
  - SNCP 13-16, 13-19, 19-79
  - STM-N カードとスパン (自動) 12-8
  - TCC2 から TCC2P へ 12-6
  - XC-VXL-10G から XC-VXC-10G へ 12-4
  - XC-VXL-2.5G から XC-VXC-10G へ 12-2
  - XC-VXL-2.5G から XC-VXL-10G へ 12-2
  - カードとスパン 12-1?12-14
  - サポートされていないポイントツーポイント構成 13-7
  - 手動で 1+1 スパン保護グループ 19-80
  - 手動で 4 ファイバ MS-SPRing 19-77
  - 手動で非保護スパン 19-81
  - スパン、ネットワーク ビューから A-12
  - ネットワーク トポロジー A-7
  - 光スパン (手動) 12-12
  - ポイントツーポイント構成 13-2, 13-5, 13-10, 13-13, 13-14
  - リニア ADM 13-10, 13-13, 13-14
- アラート テキストの保存 17-24
- アラート、保存 17-24
- アラーム
  - FC\_MR-4 RMON スレッシュホールドの削除 21-48
  - FC\_MR-4 RMON スレッシュホールドの作成 21-45
  - LCD のアラーム カウント表示 8-7
  - MIC-A/P のケーブルの取り付け 20-13
  - アラーム プロファイル も参照
  - アラーム 重大度 も参照
  - アラーム履歴のセッション エントリ 最大数の変更 18-13
  - イーサネット RMON スレッシュホールド 21-28
  - イーサネット RMON スレッシュホールドの作成 21-32
  - 影響を受ける回線の表示 8-6
  - 外部、変更 19-6
  - 起動 (抑制しない) 21-18
  - クリアされたアラームの表示からの削除 8-5
  - シェルフとファン トレイに互換性がない場合のアラーム 15-28
  - 時間帯で表示 18-15
  - 同期 18-15
  - トラブルシューティング、『Cisco ONS 15454 SDH Troubleshooting Guide』を参照
  - ネットワークをチェック 19-82
  - 配線 1-18
  - 表示 8-4, 17-80
  - ピン割り当て 20-14
  - フィルタ パラメータの変更 8-10, 21-14
  - フィルタリングのイネーブル化 8-10, 19-19
  - フィルタリングのディセーブル化 8-10, 19-20
  - 抑制 8-11
  - 抑制の中止 21-18
  - 履歴 18-13
  - 履歴の表示 21-5
  - レポートの抑制 21-16
  - 重大度プロファイル、アラーム プロファイルを参照
- アラーム プロファイル 19-18
  - カードおよびノードへの割り当て 18-18
  - 削除 21-12
  - 作成 21-6
  - ダウンロード 19-18
  - ポートへの割り当て 21-10
- アラーム プロファイルのダウンロード 8-9
- アラーム 重大度
  - フィルタの処理 8-10
  - プロファイルの処理 8-9
- 安全手順
  - 検索 xxviii
  - 国際 xxvii
- い
- イーサネット
  - CE-100T-8 も参照
  - E シリーズ マルチカード EtherSwitch クロスコネク  
ト、手動 6-95
  - E シリーズ EtherSwitch 回線 6-79
  - E シリーズ イーサネット カードも参照
  - E シリーズ ポートのプロビジョニング 19-14,  
19-15
  - E シリーズの共有パケット リング回線 6-86

- G シリーズ イーサネット カードも参照
  - G シリーズ フロー制御水準点のプロビジョニング 20-59
  - G シリーズ ポートのプロビジョニング 6-104, 19-16
  - MAC アドレス テーブルの表示 20-5
  - ML シリーズ イーサネット カードも参照
  - PM カウントのリフレッシュ時間間隔の変更 19-60
  - PM パラメータの表示 19-58, 19-59
  - RMON スレッシュホールドの削除 9-6, 21-28
  - RMON スレッシュホールドの作成 9-6, 21-32
  - カードの取り付け 2-13, 17-33
  - カードのリセット 15-19, 17-32
  - 回線 6-79?6-108
  - 回線のテスト 6-99
  - スレッシュホールド変数 (MIB) 21-33
  - トランク使用状況の表示 20-5
  - ハブアンドスポーク回線 6-89
  - 緯度、設定 4-5
  - イネーブル化
    - DHCP 19-50
    - IPPM 18-21
    - OSI サブネット、LAN インターフェイス上 18-63
    - アラーム フィルタリング 8-10, 19-19
    - アラームの抑制 8-11
    - ダイアログボックス非表示オプション 19-71
    - ノードのセキュリティ モード 17-83
    - ポインタ位置調整カウント 18-19
  - イベント、表示 8-4
  - 色
    - アクティブ スパンおよびスタンバイ スパンの変更 19-24
    - ネットワーク ビューの背景の変更 18-37
  - 印刷
    - CTC データ 18-38
    - ツールバーを使用 A-5
  - インストール
    - CTC 21-20, 21-24
    - 公開鍵セキュリティ証明書 21-1
  - インストール ウィザード 21-20, 21-24
  - インターフェイス、ポートを参照
  - インベントリ、表示 A-13
  - インポート
    - Cisco MetroPlanner コンフィギュレーション ファイルのインポート 20-81
  - ネットワーク要素のデフォルト値 15-33
- う
- 受け入れテスト
    - 2 ファイバ MS-SPRing 5-19
    - 4 ファイバ MS-SPRing 5-22
    - SNCP 5-31
    - 開放端 SNCP 5-44
    - ポイントツーポイント ネットワークの立ち上げ 5-7
    - リニア ADM ネットワーク 5-12
- え
- エア フィルタ
    - 検査 15-2
    - 交換 15-2
    - 要件 1-14
  - エア フィルタのメンテナンス 15-2
  - エクスポート
    - CTC データ 18-40
    - ツールバーを使用 A-5
    - ネットワーク要素のデフォルト値 15-35
  - エリア範囲テーブル (OSPF) 19-53
- お
- オーダーワイヤ
    - 削除 17-27
    - 設定変更 19-7
    - プロビジョニング 17-82
  - オーバーヘッド回線
    - 削除 17-27
    - 作成 6-109
    - 変更と削除 7-6
    - メニュー オプション A-7
  - オフィスアースの接続 17-14
  - オフィス電源
    - 接続 17-16
    - 投入と確認 17-18
  - オフィス電源の投入 17-18
  - オプティカルカード、STM-N カードを参照
  - オフロード
    - 監査追跡レコード 15-15
    - 診断ファイル 15-16

オンライン ヘルプを使用 A-7

## か

### カード

- CE-100T-8 も参照
- CLEI コード A-13
- E シリーズ イーサネット カードも参照
- G シリーズ イーサネット カードも参照
- Line Terminating Equipment 18-19
- ML シリーズ イーサネット カードも参照
- アップグレード 12-1?12-14
- アラーム プロファイルの適用 18-18
- カードの保護も参照
- 共通コントロール カードも参照
- サービス状態の変更 10-7, A-13
- 削除 18-81
- シリアル番号 A-13
- スロットの互換性 2-4
- 設定変更 10-1?10-8
- 電気回路カードも参照
- 取り付けの確認 4-2
- 取り外し 2-23
- 取り外しおよび取り付け 2-23
- 部品番号 A-13
- ポートをイン サービスまたはアウト オブ サービスにする 19-9
- リセット 15-19, 17-32
- リビジョン番号 A-13

### カード保護

- 1:1 オプティカル カード保護も参照
- 1:1 電気回路カード保護も参照
- 1:N カード保護も参照
- カードの保護グループの変換 10-5
- 保護グループの削除 11-6
- 保護グループの作成 4-12
- 保護グループの変更 11-6

### 開梱

- シェルフ 17-1
- シェルフ アセンブリ 1-5

### 開始

- MS-SPRing 強制リング切り替え 20-3
- MS-SPRing 手動リング切り替え 20-2
- MS-SPRing スパンのロックアウト 19-83
- SNCP の強制切り替え 18-84
- 外部切り替えコマンド 15-17

電氣的な保護切り替え 17-38

光保護切り替え 17-37

### 回線

Low-Order Aggregation Point、Low-Order Aggregation Point を参照

SNCP 回線バス セレクタの編集 19-25

SNCP のプロビジョニング 19-12

User Data Channel 19-8

VCAT 回線も参照

アラームの表示 8-6

イーサネットも参照

回線状態の変更 19-22

回線ノード、アイコン A-4

回線のステータス 20-79

クロスコネクト回線も参照

検索 7-2, 18-26

検索と表示 7-2

高次回線も参照

サービス中断なしにトラフィックを再ルーティング、回線、ブリッジおよびロールを参照

再作成 7-14

再設定 7-14

削除 17-23

始点および終点のオプション 6-3, 6-4

始点、説明 6-3

自動ルーティング、説明 6-3

終点、説明 6-3

修復 17-27

手動ルーティング、説明 6-3

状態 20-80

情報の表示 20-77

ショートカットによるプロビジョニング A-11

スパンにおける表示 19-21

スパンのアップグレード A-12

低次 VC3 のプロビジョニング 20-10

低次回線も参照

低次トンネルも参照

デュアル ロール 19-38

名前の編集 19-23

ノードの追加 A-11

ノード名の変更による影響 15-11

パススルーの確認 20-64

半回線の作成 6-75, 6-77

表示のフィルタ処理 19-62

複数ドロップ 6-16, 6-29, 6-42

ブリッジおよびロール 7-12

変更と削除 7-5

- ポートマップ モードの E シリーズ カード用に作成  
6-83
- 保護タイプ 20-78
- マージ 7-15
- メニュー オプション A-7
- モニタ 7-7
- リングを対象にしたテスト回線 6-117
- ロール 19-26, 19-29, 19-31, 19-35, 19-38
- ロールのキャンセル 19-41
- ロールの削除 19-40
- 外部アラーム、AIC-I カードを参照
- 外部切り替えコマンド
  - 1+1 ポートでの Force スイッチの開始 19-80
  - 4 ファイバ MS-SPRing スパンの負荷テスト  
17-95
  - MS-SPRing 強制切り替えのクリア 18-81
  - MS-SPRing 手動リング切り替えの開始 20-2
  - MS-SPRing 手動リング切り替えのクリア 19-41
  - MS-SPRing スパンのロックアウトの開始 19-83
  - MS-SPRing スパンのロックアウトのクリア  
20-1
  - MS-SPRing の試験 19-10
  - MS-SPRing 強制リング切り替えの開始 20-3
  - SNCP 強制切り替えの開始 17-100, 18-84
  - SNCP 強制切り替えのクリア 18-85
  - 開始 15-17
  - クリア 15-17
  - トラフィック カードのロックアウト 19-2
  - ロック オンの開始 19-1
- 外部制御、AIC-I カードを参照
- 外部ノードの設定
  - DCC の変更 20-65
  - IP アドレスの指定 20-65, 20-66
  - MS-DCC によるイネーブル化 20-71
  - MS-DCC のプロビジョニング 20-71
  - MS-DCC の変更 20-65
  - RS-DCC によるイネーブル化 20-69
- 開放端 SNCP、SNCP を参照
- 確認
  - カードの取り付け 4-2
  - 1+1 現用スロットの状態 18-80
  - MS-SPRing 拡張バイト マッピング 20-82
  - オフィス電源 17-18
  - シェルフ アセンブリ パッケージの内容 17-1
  - 縮小されたリングでのタイミング 18-82
  - ネットワークの立ち上げ 6-5
  - パススルー回線 20-64
- 仮想リンク
  - 削除 17-35
  - 作成 17-34
- 画面表示、表示を参照
- 監査追跡
  - オフロード 15-15
  - 表示 15-13
- 管理
  - OSI 情報 15-10
  - TARP Data Cache 18-76
- き
- ギガビット インターフェイス コンバータ、GBIC を参照
- 機器
  - インベントリ A-13
  - カード、カードタイプを参照
  - シスコが提供 1-3
  - 設置用 1-3
  - テスト用 1-4
  - ユーザの準備 1-4
- キャビネット コンパートメント、前面扉を参照
- 強制切り替え
  - SNCP のクリア 18-85
  - 開始 18-84
  - 外部切り替えコマンドも参照
- 共通コントロールカード
  - TCC2 カードも参照
  - TCC2P カードも参照
  - XC-VXC-10G カードも参照
  - XC-VXL-10G カードも参照
  - XC-VXL-2.5G カードも参照
  - 切り替えテスト 19-55
  - 取り付け 2-2
- 共有パケットリング 6-86
- 切り替え
  - TDM と DWDM のネットワーク ビュー間 20-82
  - 外部切り替えコマンドも参照
  - 自動保護切り替えも参照
  - ノード タイミング基準 20-76
- く
- クラフト ピン接続、配線 1-18

## クリア

- MS-SPRing 強制切り替え 18-81
- MS-SPRing 手動リング切り替え 19-41
- MS-SPRing スパンのロックアウト 20-1
- SNCP の強制切り替え 18-85
- 外部切り替えコマンド 15-17
- 切り替えたノードのタイミング基準 20-76
- 再初期化ツールの使用によるデータベース  
19-43, 19-45
- 選択した PM のカウント 21-40
- ロック オンまたはロックアウト 19-3

## クローズ

- CTC A-5
- FMEC カバー 1-21

## クロスコネクト回線

- E シリーズ 6-101
- E シリーズ シングルカード EtherSwitch 6-92
- E シリーズ マルチカード EtherSwitch 6-95
- G シリーズ 6-101
- ロール 19-35, 19-38

## け

## 警告

- 検索 xxviii
- 国際 xxvii
- 設置用 1-2

## 経度、設定 4-5

## ゲートウェイの設定、プロビジョニング 19-50

## ケーブル

- CAT-5、LAN ケーブルを参照
- FMEC でのケーブルの取り付け 1-19
- LAN ケーブルの取り付け 17-76, 20-17
- アラーム ケーブルの取り付け 20-13
- シスコが提供するモデル 1-3
- 接続、PC から ONS 15454 SDH へ 17-43
- 電気回路ケーブルの配線 1-20
- 同軸 20-18
- パッチ 5-8
- 光ファイバ、取り付け 2-18
- ファイバも参照

## 検査

- エア フィルタ 15-2
- シェルフ アセンブリ 1-5, 17-2
- シェルフの取り付けおよび接続 17-28

## 検索

- 回線 18-26
- ネットワーク上のアラームとコンディション  
19-82

## 検査、アダプタとコネクタ 19-4

## こ

公開鍵セキュリティ証明書のインストール 21-1  
交換

- STM-N カードの設定 19-48
- カード 2-23
- クロスコネクトカード 15-26?15-27
- 再使用可能なエア フィルタ 15-2
- ファントレイ アセンブリ 15-28

## 工具、設置用 1-3, 1-4

## 高次回線

- 作成 6-60, 6-65, 6-69
- テスト 6-73
- プロビジョニング 17-103, 17-104

工場出荷時の設定、ネットワーク要素のデフォルト値  
を参照

## 構成、ネットワークを参照

## コネクタ、STM-N カードへの取り付け 2-8?2-10

## コンディション

- 時間帯で表示 18-15
- ネットワークをチェック 19-82
- 表示 8-4, 18-16
- フィルタ パラメータの変更 21-14
- 履歴の表示 21-5

## さ

## サードパーティ製の機器

- DCC トンネルの作成 20-67
- MS-SPRing の K3 バイトへの再マップ 17-90
- 開放端 SNCP のプロビジョニング 5-42

## サービスの状態

- PPM 10-7
- VCAT メンバーの修正 17-78
- カード 10-7, A-13
- カードの状態遷移 10-7

## 機器 A-13

## サービス要求

- 重大度の定義 xxxii
- 提出 xxxii

- 再初期化ツール 15-11
  - UNIX 19-45
  - Windows 19-43
- 再初期化ツールの使用によるソフトウェアのアップロード 19-43, 19-45
- 削除
  - DCC 終端 11-7
  - IP-over-CLNS トンネル 18-74
  - MS-DCC 終端 20-68
  - MS-SPRing ノード 14-7
  - PPM 10-8
  - RMON スレッシュホールド 9-6, 9-9, 21-28, 21-48
  - RS-DCC 終端 20-66
  - SNCP ノード 14-14
  - SNMP トラップ宛先 18-55
  - TARP Manual Adjacency Table エントリ 18-65
  - VCAT 回線のメンバー 17-75
  - VLAN 17-29
  - アラーム重大度プロファイル 21-12
  - インサービスのリニア ADM ノード 14-21
  - オーダーワイヤ 17-27
  - オーバーヘッド回線 7-6, 17-27
  - カード 2-23, 18-81
  - カードの保護設定 11-6
  - 回線 7-5, 17-23
  - クリアされたアラーム 8-5
  - スタティック TID/NSAP エントリ、TDC から 18-60
  - スタティック ルート 18-36
  - 単一ノードから MS-SPRing を 18-83
  - 単一ノードのユーザ 18-52
  - ドメイン 18-43
  - ノード 17-30, 17-50, A-5
  - ファイアウォール トンネル 18-1
  - 複数ノードでのユーザ 18-53
  - プロキシ トンネル 18-1
  - プロビジョニング可能なパッチコード 11-7, 17-35
  - 保護グループ 18-49
  - マルチレート PPM 18-29
  - ロール 19-40
- 作成
  - 1+1 保護グループ 17-69
  - 1:1 保護 17-66
  - 1:N 保護グループ 17-68
  - 2 ファイバ MS-SPRing 21-49, 21-51
  - 4 ファイバ MS-SPRing 17-12, 17-24
  - DCC トンネル 20-67
  - E シリーズ マルチカード EtherSwitch クロスコネク  
ト、手動 6-95
  - E シリーズ EtherSwitch 回線 6-79
  - E シリーズ カードを使用したハブアンドスポーク  
イーサネット構成 6-89
  - E シリーズ シングルカード EtherSwitch クロスコネ  
クト、手動 6-92
  - E シリーズ ポートマップ カード用の回線 6-83
  - E シリーズの共有パケット リング イーサネット回  
線 6-86
  - G シリーズまたは E シリーズのポートマップ カー  
ド用のクロスコネク、手動 6-101
  - IP カプセル化トンネル 17-3
  - IP-over-CLNS トンネル 18-64
  - J1 パストレースまたは J2 パストレース 7-11
  - Low-Order Aggregation Point 6-55
  - MS-SPRing 5-18, 19-42
  - RMON スレッシュホールド 9-6, 9-9, 21-32,  
21-45
  - STM テスト回線 6-117
  - User Data Channel 回線 19-8
  - VCAT 回線 6-110, 6-114
  - アラーム重大度プロファイル 8-9, 21-6
  - イーサネット回線用 VLAN 6-90, 6-94
  - オーバーヘッド回線 6-109
  - 高次回線 6-60, 6-65, 6-69
  - 新規ユーザ 17-70, 17-71
  - スタティック ルート 17-60
  - 低次回線 6-7, 6-12, 6-16, 6-20, 6-25, 6-29, 6-33,  
6-38, 6-42
  - 低次トンネル 6-47, 6-50
  - ドメインアイコン 18-42
  - 半回線 6-75, 6-77
  - プロビジョニング可能なパッチコード 17-34
  - ポート グルーピング用の低次パス トンネルの作成  
6-52
  - 保護グループ 4-12
  - ログイン ノード グループ 17-55
  - 論理ネットワーク マップ 5-52
- サブテンディング
  - MS-SPRing、MS-SPRing から 5-50
  - MS-SPRing、SNCP から 5-49
  - SNCP、MS-SPRing から 5-47
- サブネットマスク
  - Windows の設定 17-41
  - プロビジョニング 4-8, 17-60, 19-50

- サマータイム 4-6
- し
- シェルフ
  - 受け入れテスト 1-22
  - オフィスアースの接続 17-14
  - オフィス電源の接続 17-16
  - 開梱 1-5, 17-1
  - 確認 17-1
  - 検査 1-5, 17-2, 17-28
  - 立ち上げ 4-1?4-16
  - 扉 1-8
  - 取り付け 17-5, 17-7, 17-8
  - 連絡先の変更 18-33
- 時間
  - 時間の変更 18-34
  - 設定 4-6
- 時間帯
  - アラームとコンディションの表示に使用 18-15
  - 選択 4-6
- 時間の設定 4-6
- シスコ製品のセキュリティ問題の報告 xxx
- システム、ネットワークを参照
- 事前プロビジョニング
  - PPM 18-8
  - SPF 18-8
  - XPF 18-8
  - スロット 21-37
  - プロビジョニングも参照
- 自動保護切り替え
  - STM-N トラフィックの双方向切り替え 17-69
  - 復元切り替え 17-67
- 自動ホスト検出 17-45
- 自動ルーティング 19-31
- 社内 LAN 3-6
- 終端ノード、アイコン A-4
- 受信レベル 2-19
- 手動ルーティング 19-35
- 診断ファイル、オフロード 15-16
- す
- ズーム A-6
- スタティックルート
  - 削除 18-36
  - 作成 17-60
  - 変更 18-35
- ストレート型ケーブル、LAN ケーブルを参照
- スパニングツリープロトコル
  - 回線のブロッキング 6-81
  - 情報の表示 17-20
- スパン
  - 4 ファイバ MS-SPRing の負荷テスト 17-95
  - SNCP の保護切り替え A-11
  - アップグレード 12-1?12-14, 19-81
  - 色の変更 19-24
  - 回線の表示 19-21
  - 切り替え 17-97, 17-100
  - スパン情報の表示 A-9
  - 復元 (MS-SPRing) 17-13, 17-25
  - プロパティの表示 A-11
- スパンアップグレードウィザード
  - アップグレードの取り消し (ダウングレード) 12-12
  - 開始 12-8
  - 回復 12-12
- スレッシュホールド
  - FC\_MR-4 カード 9-9, 20-60, 20-61, 20-63, 21-30
  - FC\_MR-4 カードの変更 10-6
  - STM-64 および MRC-12 カードの光設定の変更 18-12
  - STM-N カードの変更 10-3
  - 電力モニタ、設定 4-7
- スロット
  - 1+1 現用スロットがアクティブであることの確認 18-80
  - AIC-I カード 4-2
  - TCC2 と TCC2P 4-2
  - アラームカウンタの表示 8-7
  - クロスコネクタ 4-2
  - 事前プロビジョニング 21-37
- せ
- 清掃
  - CLETOP によるコネクタ 19-5
  - アダプタとコネクタ、アルコールとドライワイプを使用 19-4
  - ファイバコネクタ 15-18
- セキュリティ
  - RADIUS 18-5
  - シスコ製品 xxx

- 設定 4-4
- 設定の変更 11-9
- ノードセキュリティのロック 17-85
- ノードのセキュリティモードのイネーブル化 17-83
- ノードのためのディセーブル化 17-86
- パスワードおよびレベルの変更 18-51, 18-52
- 問題の報告 xxx
- 接続
  - オフィスアース 17-14
  - オフィス電源 17-16
- 切断
  - ノードの電源 16-1
- 設置
  - 受け入れテスト 1-22
  - 空のシェルフ 1-6
  - 警告 1-2
  - 工具 1-3
  - 電源および信号 FMEC 1-9
- 設定
  - CTC Alerts ダイアログボックス 17-21
  - IP アドレス、LCD を使用 17-57
  - OSPF プロトコル 19-52
  - RIP 19-54
  - クラフト接続 17-40, 17-43, 17-45, 17-48
  - 初期設定、ツールバーを使用 A-5
  - タイミング 17-62, 17-65
  - デフォルト ルータ、LCD を使用 17-57
  - 電力モニター スレッシュホールド 4-7
  - ネットワーク マスク、LCD を使用 17-57
  - ノード名、日付、時刻、連絡先の情報 4-5
  - ノード、RADIUS 認証 18-5
- 前面扉
  - 交換 2-24
  - 取り外し 1-8, 15-3, 17-11
  - 開く 1-8, 17-10
- そ
  - 送信レベル 2-19
  - ソフトウェア
    - CTC のオペレーティングシステムの要件 (Windows) 21-20
    - CTC も参照
    - 確認、バージョン 17-54
    - 互換性のないアラーム 17-54
  - 設定 3-1
  - バージョンのミスマッチ、複数のノード間 17-54
- た
  - ダイアログボックス、非表示にする 19-71
  - タイミング
    - BITS、BITS を参照
    - MIC-C/T/P ケーブルの取り付け 20-16
    - 外部 17-62
    - 縮小されたリングでのタイミングの確認 18-82
    - 手動または強制基準切り替えのクリア 20-76
    - 設定 4-11, 17-62
    - ソースの変更 18-49
    - 内部 17-65
    - ノードクロックの設定 4-6
    - ノードのタイミング基準の切り替え 20-76
    - ノードのタイミング基準の変更 15-22
    - 配線接続 1-18
    - ライン 17-62
    - レポートの表示 15-23
  - 立ち上げ
    - ネットワークの確認 6-5
    - ノードについて確認 5-3
  - 端末システム、ポイントツーポイントを参照
- つ
  - 追加
    - MS-SPRing ノード 14-2
    - SNCP ノード 14-11
    - TARP Manual Adjacency Table エントリ 18-61
    - VCAT 回線へのメンバー 17-72
    - スタティック TID/NSAP エントリ、TDC へ 18-59
    - ノード、回線へ A-11
    - ノード、現在のセッションまたはログイングループへ 17-57
    - ノード、ツールバーを使用 A-5
    - ノード、ドメインへ 18-43
    - ノード、リニア ADM へ 14-16, 14-18
  - ツールバーにあるボタン
    - 印刷 A-5
    - エクスポート A-5
    - 親ビューへ移動 A-6



- 初期設定 A-5
  - ズーム イン A-6
  - セッションの終了 A-5
  - 選択したオブジェクトのビューへ移動 A-6
  - 選択領域のズーム イン A-6
  - その他のノードへ移動 A-6
  - 次の CTC ビューへ進む A-6
  - ネットワーク ビューへ移動 A-6
  - ノードの削除 A-5
  - ノードの追加 A-5
  - ノードのロック A-5
  - ホーム ビューへ移動 A-6
  - 前の CTC ビューに戻る A-6
- て
- 低次回線
    - VC11 の作成 6-7, 6-12
    - VC11 のプロビジョニング 18-77, 18-79
    - VC12 の作成 6-20, 6-25
    - VC12 のプロビジョニング 17-2, 17-100
    - VC3 のプロビジョニング 17-102
    - 作成 6-16, 6-29, 6-33, 6-38, 6-55
    - テスト 6-58
    - ドロップが複数個ある双方向低次 VC3 回線の作成 6-42
  - 低次トンネル
    - 自動ルーティング 6-47
    - 手動ルーティング 6-50
    - 説明 6-3
    - ポート グルーピング 6-52
    - ポート グルーピング用の低次パス トンネルの作成 6-52
  - ディセーブル化
    - OSPF 18-37
    - アラーム フィルタリング 8-10, 19-20
    - アラームの抑制 8-11
    - ダイアログボックス表示 19-71
    - ノードのセキュリティ モード 17-86
    - プロキシ サービス 17-51, 17-52
  - データ通信チャネル、DCC を参照
  - データベース
    - データベースのクリア 15-11
    - ノードおよびカードのデフォルト設定の復元 15-11
    - バックアップ 15-6
    - 復元 15-7
    - 復元されないパラメータ 15-11
  - データベースのバックアップ 15-6
  - 適用
    - アラーム プロファイルをポートに 21-10
    - カードへのアラーム プロファイル 18-18
    - ノードへのアラーム プロファイル 18-18
  - テクニカル サポート
    - Web サイト xxxi
    - 入手方法 xxxi
  - テスト
    - 1+1 光保護 17-88
    - 2 ファイバ MS-SPRing 5-19
    - 4 ファイバ MS-SPRing 5-22, 17-95, 17-97
    - E シリーズイーサネットカイセン 6-99
    - G シリーズ回線 6-107
    - MS-SPRing の切り替え 17-91
    - MS-SPRing、トラフィック切り替えなし 19-10
    - SNCP 受け入れ 5-31
    - SNCP の保護切り替え 17-99
    - TCC2/TCC2P アクティブ / スタンバイ切り替え 19-55
    - 開放端 SNCP のセットアップ 5-44
    - クロスコネク トカードのサイド切り替え 19-57
    - 高次回線 6-73
    - シェルフ取り付け 1-22
    - 使用機器 1-4
    - 低次回線 6-58
    - ポイントツーポイント ネットワークのセットアップ 5-7
    - リニア ADM のセットアップ 5-12
  - テスト回線、作成 6-117
  - デフォルト ルータ
    - IP アドレスの入力 19-49
    - LCD による設定 17-57
    - 初期プロビジョニング 4-8
    - 変更、LCD を使用 17-58
  - 電圧の測定 17-29
  - 電気回路カード
    - 1:1 保護から 1:N 保護へのアップグレード 10-5
    - FMEC でのケーブルの取り付け 1-19
    - 回線およびスレッシュホールドの設定変更 20-39?20-53
    - 回線の設定変更とスレッシュホールドの変更 10-2
    - 取り付け 2-11?2-12
    - 取り付け時の LED の動作 2-12

- 取り付けの確認 4-3
- パフォーマンス モニタリング 9-3
- 保護 17-66
  - リセット 15-19, 17-32
- 電氣的な保護切り替え、開始 17-38
- 電源
  - 確認 17-18
  - シェルフへの接続 17-16
  - 装置 1-12
  - 電圧の測定 17-29
  - ノードの電源切断 16-1
- 電力モニタ スレッシュホールド、設定 4-7
  
- と
- 同軸ケーブル、取り付け 20-18
  - ドキュメント、マニュアルを参照
- 扉、前面扉を参照
- トポロジー アップグレード
  - SNCP 回線の自動ルーティング 21-53
  - SNCP 回線の手動ルーティング 21-52
- トポロジー アップグレード、メニュー オプション A-7
- ドメイン
  - 移動 18-43
  - 管理 18-42
  - 削除 18-43
  - 作成 18-42
  - 名前変更 18-43
  - ノードの外部への移動 18-43
  - ノードの追加 18-43
  - 開く 18-43
- ドメイン アイコンの管理 18-42
- トラップ、SNMP を参照
- トラフィック
  - カード、STM-N カードを参照
  - カード、電気回路カードを参照
  - 回線も参照
- トラフィック モニタリング
  - Performance Monitoring も参照
  - STM-N ポートでの J1 パス トレースのプロビジョニング 18-32
  - パス トレースの作成 7-11
  - モニタ回線の作成 7-7
- トランスポンダ カード
  - Y 字型ケーブル保護 4-13
  - スプリッタ保護 4-13
- トランスポンダ モード、G シリーズ ポートのプロビジョニング 6-104
- 取り付け
  - 120 ohm E-1 ケーブル 20-19, 20-21
  - AIC-I カード 20-28
  - E1-75/120 変換パネル 1-16
  - FC\_MR-4 カード 2-14
  - FMEC カバー 1-21
  - FMEC の電気回路ケーブル 1-19
  - GBIC、SFP、または XFP デバイス 20-29
  - MIC-C/T/P の LAN ケーブル 20-17
  - MIC-C/T/P への TL1 クラフト インターフェイス 17-76
  - MRC-12 ファイバクリップ 18-3
  - STM-N カードおよび光コネクタ 2-8?2-10
  - TCC2/TCC2P カード 20-23
  - アース 1-12
  - アラーム ケーブル 20-13
  - イーサネット カード 2-13, 17-33
  - 共通コントロール カード 2-2
  - クロスコネクタ カード 20-26
  - 前面扉 2-24
  - タイミング線 20-16
  - 電気回路カード 2-11?2-12
  - 電源装置 1-12
  - 同軸ケーブル 20-18
  - 光ファイバ ケーブル 2-18, 17-19, 17-36, 20-34, 20-37
  - ファイバブーツ 17-38
  - ファントレイ アセンブリ 1-14
- 取り外し
  - FMEC カバー 20-12
  - GBIC、SFP、または XFP デバイス 20-33
  - キャビネットの前面扉 17-11
  - パススルー接続 17-77
- ドロップ
  - 高次回線の複数ドロップ 6-69
  - 低次回線の複数ドロップ 6-16, 6-29, 6-42
  
- な
- ナビゲート、ツールバーを使用 A-6

- ね
- ネットワーク
- CTC アクセスの変更 11-3
  - CTC ビューのカスタマイズ 11-5
  - MS-SPRing、MS-SPRing を参照
  - アラームとコンディションのチェック 19-82
  - 回線の構築 6-1, 7-1
  - 基本情報の設定 19-49
  - 構成の変換 13-1?13-24
  - 自動検出のディセーブル化 17-55
  - ネットワークの立ち上げの確認 6-5
  - ポイントツーポイント、ポイントツーポイントを参照
  - リニア ADM、リニア ADM を参照
- ネットワーク アクセス、設定 4-8
- ネットワーク ビュー
- DWDM A-8
  - TDM A-8
  - TDM と DWDM との切り替え 20-82
  - カスタマイズ 11-5
  - カスタム背景イメージ (マップ) の使用 19-70
  - 実行できる作業 A-11
  - ショートカット A-11
  - 新規ノードの追加に伴う回線の更新 A-11
  - 新規ユーザの作成 17-71
  - スパンのアップグレード A-12
  - ノードのマップへの追加、ドメインを参照
  - 背景の変更 18-37, 19-70
  - リンクのエンド (ドロップ) ポイントの表示 A-11
- ネットワーク マスク、LCD による設定 17-57
- ネットワーク マップ、作成 5-52
- ネットワーク 要素のデフォルト値
- インポート 15-33
  - エクスポート 15-35
  - 復元 15-11
  - 編集 15-31
- MS-SPRing のプロビジョニング 5-15
- RADIUS 認証の設定 18-5
- SNCP からの削除 14-14
- SNCP のプロビジョニング 5-29
- SNCP への追加 14-11
- アクセス権限の変更 21-29
- アラーム カウントの表示 8-7
- アラーム プロファイルの適用 18-18
- イン サービス、リニア ADM からの削除 14-21
- ウィザードによるリニア ADM への追加 14-18
- 現在のセッションへの追加 17-57
- 工場出荷時の設定への復元 15-11
- 削除 17-30, 17-50, A-5
- セキュリティ ポリシーの変更 19-72, 19-73
- セキュリティ モードのイネーブル化 17-83
- セキュリティ モードのディセーブル化 17-86
- セキュリティのロック 17-85
- タイミング基準切り替えのクリア 20-76
- タイミング ソースの変更 18-49
- タイミング基準の切り替え 20-76
- タイミングの変更 11-8, 15-22
- 立ち上げ 4-1?4-16
- 立ち上げの確認 5-3
- 追加、ツールバーを使用 A-5
- 電源切断 16-1
- 名前、日付、時刻、連絡先の情報の変更 18-33
- ノード管理情報の変更 11-2
- ノード名の変更 18-33
- 日付、時刻、連絡先情報、設定 4-5
- メンテナンス 15-1?15-35
- ユーザの削除 18-52, 18-53
- リニア ADM への追加 14-16
- ノード ビュー
- IP 設定のプロビジョニング 19-49
  - タイマーの設定 17-62
  - ユーザの作成 4-4, 17-70
- は
- ハードウェアの冗長性テスト、カード、切り替えテストを参照
- 配線
- 電気回路ケーブル 1-20
  - 光ファイバケーブル 2-21
- ハイブリッド ノード、アイコン A-3
- 背面カバー 1-21
- の
- ノード
- IP アドレスの修復 17-27
  - MS-SPRing からの削除 14-7
  - MS-SPRing ノード ID の変更 17-21
  - MS-SPRing の作成 19-42
  - MS-SPRing の追加 14-2

- パストレース
  - J1 パストレースを参照
  - J2 パストレースを参照
  - 作成 7-11
- パススルー
  - 回線、確認 20-64
  - 接続、取り外し 17-77
- パスワード
  - 作成 17-70, 17-71
  - 変更 18-51, 18-53
  - ログイン 17-54
- ハブノード、アイコン A-3
- ハブアンドスポーク 6-89
  
- ひ
- 非 ONS ノード、IP アドレスの設定 20-65, 20-66
- 光送受信レベル 2-19
- 光保護切り替え、開始 17-37
- 日付
  - 設定変更 18-34
  - デフォルト 17-17
  - プロビジョニング 4-6
- ビュー
  - 概要 A-2
  - ショートカット A-10
  - ネットワーク ビューで行うアクション A-11
  - ネットワーク ビューのショートカット A-11
  - ノード ビューのショートカット A-10
  - ビューの切り替え A-2
  - マウスによる変更 A-9
- ヒューズ アラーム パネル
  - 100 アンペア 1-13, 17-5, 17-7, 17-18
  - 80 アンペア 17-18
- 表
  - カラム順序の変更 A-12
  - カラムのサイズ変更 A-12
  - ソート A-12
  - データの印刷 18-38
  - テーブルのリストも参照
  - 表示されていないカラムの表示 A-12
  - フォーマットの変更 A-12
- 表示
  - CE-100T-8 カードの PM パラメータ 20-56, 20-57
  - E シリーズ イーサネット カードのメンテナンス情報 15-21
  - ES-IS RIB 18-75
  - FC\_MR-4 カードの PM パラメータ 21-41, 21-42, 21-43
  - G シリーズ イーサネット カードのメンテナンス情報 15-20
  - IS-IS RIB 18-74
  - LCD のアラーム カウント 8-7
  - LCD のポート ステータス 21-19
  - ML シリーズの PM パラメータ 20-56, 20-57
  - MS-SPRing スケルチ テーブル 20-80
  - OSI 情報 15-10
  - STM-N PM パラメータ 21-2
  - アクティブ ログイン 18-7
  - アラーム 17-80, 18-15
  - アラームの影響を受ける回線 8-6
  - アラームまたはイベントの履歴 21-5
  - アラーム、履歴、イベント、コンディション 8-4
  - イーサネット MAC アドレス テーブル 20-5
  - イーサネット PM パラメータ 19-58, 19-59
  - イーサネット トランク 使用状況 20-5
  - インベントリ A-13
  - 遠端側の PM カウント 18-24
  - 回線 7-2
  - 回線情報 20-77
  - 監査追跡レコード 15-13
  - 近端側の PM カウント 18-24
  - クロスコネクタ カードのリソース使用率 7-3
  - コンディション 18-16
  - 時間帯に合わせて表示したコンディション 18-15
  - ステータス バー A-6
  - スパニングツリーの情報 17-20
  - スパン プロパティ A-11
  - スパンにおける回線 19-21
  - タイミング レポート 15-23
  - ツールバー A-6
  - ドメインのコンテンツ 18-43
- 開く
  - FMEC カバー 20-11
  - キャビネットの前面扉 17-10
  - ピン付き六角 (アレン) キー 1-8, 2-25
  
- ふ
- ファイアウォール トンネル
  - 削除 18-1

- プロビジョニング 17-90
- ファイアウォール、アクセス設定 4-9
- ファイバ
  - GBIC への取り付け 20-29
  - STM-N カードへの取り付け 2-18, 17-19
  - アダプタの検査 19-4
  - アダプタの清掃 19-4
  - ケーブルの配線 2-21
  - ケーブルを参照
  - コネクタの検査 19-4
  - コネクタの清掃 15-18, 19-4
  - ファイバブーツの取り付け 17-38
  - 方向反転可能なファイバガイド 2-22
- ファイバクリップ 2-21, 18-3
- ファイバブーツの取り付け 17-38
- ファイバ接続
  - LGX インターフェイスへの取り付け 17-36
  - MS-SPRing 20-37
  - MS-SPRing からの SNCP のサブテンディング 5-47
  - SNCP 20-34
  - SNCP DRI 20-36
  - SNCP からの MS-SPRing のサブテンディング 5-49
  - SNCP の確認 5-29
  - リニア構成 17-19
- ファントレイ アセンブリ
  - 交換 15-28
  - 取り付け 1-14
  - 取り外し 15-3
- ファントレイ エア フィルタ、エア フィルタを参照
- フィルター カードの取り付け 2-16
- フィルタリング
  - アラーム 19-19
  - アラーム、重大度別 8-10
  - 回線表示 19-62
  - ディセーブル化、アラーム 19-20
  - パラメータの変更 21-14
- フェライト 1-22
- 復元
  - データベース 15-7
  - ノードの工場出荷時の設定 15-11
- 復元切り替え
  - 電気回路の保護 17-67, 17-68
  - 光の保護 17-69
- ブラウザ、必須バージョン 3-2
- プラグインユニット、カードを参照
- ブランク前面プレート、取り付け 2-17
- ブリッジおよびロール、回線およびロールを参照
- ブレード、カードを参照
- フロー制御水準点のプロビジョニング 20-59
- プロキシサーバ機能、プロビジョニング 19-50
- プロキシサービス
  - Internet Explorer によるディセーブル化 17-51
  - Netscape によるディセーブル化 17-52
- プロキシトンネル
  - 削除 18-1
  - プロビジョニング 17-79
- プロトコル
  - NTP 4-5
  - OSPF、OSPF を参照
  - SNTP 4-5
  - STP、スパニングツリー プロトコルを参照
- プロビジョニング
  - CE-100T-8 イーサネット ポート 18-30
  - E シリーズ イーサネット 19-14, 19-15, 19-47
  - G シリーズ イーサネット 19-16, 20-59
  - G シリーズ ポート 6-104
  - IOP リスナー ポート 17-61, 17-62
  - IP 設定 19-49
  - J1 パストレース 18-32, 19-64
  - J2 パストレース 20-73
  - MS-DCC 終端 20-71
  - MS-SPRing ノード 5-15
  - MS-SPRing 半回線 20-6
  - MS-SPRing/SNCP DRI 5-38, 5-40
  - OSI 4-16, 18-56, 18-61, 18-62
  - OSI の変更 11-4
  - PPM 10-8
  - RS-DCC 終端 20-69
  - SNCP 5-29, 20-7
  - SNCP DRI 5-34
  - SNCP リングセレクト 19-12
  - TARP 4-16, 18-57
  - VCAT 回線 17-22, 17-30
  - オーダーワイヤ 17-82
  - 回線、ネットワーク ビューから A-11
  - 外部アラームおよび制御 8-12
  - 開放端 SNCP 5-42
  - 高次回線 17-103, 17-104
  - 事前プロビジョニングも参照
  - 従来型 MS-SPRing DRI 5-25
  - 資料作成 8-3

- 低次 VC11 回線 18-77, 18-79
- 低次 VC12 回線 17-2
- 低次 VC12 回線ルート 17-100
- 低次 VC3 回線 17-102, 20-10
- 統合 MS-SPRing DRI 5-27
- 統合 SNCP DRI 5-36
- ファイアウォール トンネル 17-90
- プロキシ トンネル 17-79
- ポイントツーポイント ネットワーク 5-5
- マルチレート PPM 18-27
- マルチレート PPM の光回線レート 18-28
- リニア ADM 5-10
- プロビジョニング可能なパッチコード
  - 削除 11-7, 17-35
  - 作成 17-34
  - 変更 11-7
- 分岐挿入装置、リニア ADM を参照
  
- へ
- ヘルプ、オンライン ヘルプ を参照
- 変換、アップグレードを参照
- 変更
  - 1+1 保護グループ 18-48
  - 1:1 保護 18-43
  - 1:N 保護グループ 18-45
  - AIC-I カードの設定 10-4
  - CTC ネットワーク アクセス 11-3
  - DCC 終端 11-7
  - FC\_MR-4 カードの PM パラメータ スレッシュホールド 10-6
  - FC\_MR-4 カードの回線設定 10-6
  - FC\_MR-4 カードの設定 20-60, 20-61, 20-63, 21-30
  - IP 設定 19-69
  - JRE バージョン 21-4
  - MIC-C/T/P ポートの IP 設定 17-85
  - MS-DCC 終端 20-65
  - MS-SPRing の ID または復元時間 13-23
  - MS-SPRing ノード ID 17-21
  - OSI プロビジョニング 11-4
  - OSI ルーティング モード 18-70
  - OSPF プロトコル 19-52
  - Performance Monitoring の表示 9-2
  - PPM 10-8
  - PPM のサービス状態 10-7
  - RIP 19-54
  - RS-DCC 終端 20-65
  - SNMP トラップ宛先 19-74
  - STM-64 および MRC-12 カードの光スレッシュホールド 18-12
  - STM-N カードの PM パラメータ スレッシュホールド 10-3
  - STM-N カードの SDH スレッシュホールドの設定 20-53
  - STM-N カードの回線設定 10-3, 18-9
  - TARP 動作パラメータ 18-57
  - VCAT メンバーのサービス状態 17-78
  - アクティブ スパンおよびスタンバイ スパンの色 19-24
  - アラーム重大度フィルタ 8-10
  - アラーム履歴のセッション エントリの最大数 18-13
  - アラーム、コンディション、および履歴のフィルタ パラメータ 21-14
  - イーサネット PM カウントのリフレッシュ間隔 19-60
  - オーダーワイヤの設定 19-7
  - オーバーヘッド回線 7-6
  - カードのサービス状態 10-7
  - カードの設定 10-1?10-8
  - カードの保護設定 11-6
  - 回線 7-5
  - 回線およびスレッシュホールドの設定 20-39?20-53
  - 回線状態 19-22
  - 外部アラーム 19-6
  - 外部制御 19-7
  - スタティック ルート 18-35
  - セキュリティ 11-9
  - デフォルトのネットワーク ビュー マップ 21-27
  - 電気回路カードの回線およびスレッシュホールドの設定 10-2
  - トンネルタイプ 17-26
  - ネットワーク ビューの背景色 18-37
  - ネットワーク ビュー背景マップ 19-70
  - ノードアクセス権限と PM クリア権限 21-29
  - ノード管理情報 11-2
  - ノードのセキュリティ ポリシー 19-72, 19-73
  - ノードの設定 11-1?11-10
  - ノードのタイミング 11-8, 15-22, 18-49
  - ノード名、日付、時刻、連絡先の情報 18-33
  - プロビジョニング パッチコード 11-7
  - 変更も参照

- 法的免責事項 19-68
- ポート サービスの状態 19-9
- マルチレート PPM の光回線レート 18-29
- ユーザ 11-9
- ユーザのパスワードおよびセキュリティ 18-51, 18-52
- 編集
  - IP-over-CLNS トンネル 18-73
  - OSI サブネットワーク ポイント オブ アタッチメント 18-72
  - OSI ルータ設定 18-71
  - SNCP DRI 回線ホールドオフ タイマー 19-64
  - SNCP 回線パス セレクタ 19-25
  - 回線名 19-23
  - ネットワーク要素のデフォルト値 15-31
- ほ
  - ポインタ位置調整カウント
    - イネーブル化およびディセーブル化 18-19
    - 使用理由 18-19
  - ポイントツーポイント型
    - アップグレード 13-2, 13-5, 13-7, 13-10, 13-13, 13-14
    - 受け入れテスト 5-7
    - プロビジョニング 5-5
- ポート
  - 1+1 保護のプロビジョニング 17-69
  - CE-100T-8 18-30, 18-34
  - E シリーズイーサネット 19-14
  - FC\_MR-4 カードの設定変更 21-30
  - G シリーズイーサネット 6-104, 19-16
  - HOOP リスナー ポート 17-61, 17-62
  - LCD のステータス表示 21-19
  - MIC-C/T/P の IP 設定修正 17-85
  - SNMP のデフォルトの UDP ポート 19-75
  - UDP 4-14
  - アラーム カウントの表示 8-7
  - アラーム プロファイルの適用 21-10
  - オプティカル ポートをイン サービスまたはアウト オブ サービスにする 19-9
  - グルーピング用の低次パス トンネルの作成 6-52
  - 名前の割り当て 20-8
  - 保護 4-12
- 保護
  - 1:1 保護から 1:N 保護への変換 10-5
  - SDH トポロジーも参照
  - カードの保護も参照
  - 自動保護切り替えも参照
  - 保護切り替えの開始 17-37, 17-38
  - 保護グループの作成 4-12
- ま
  - マップ (ネットワーク) 19-70, 21-27
  - マニュアル
    - CD-ROM xxix
    - DVD xxviii
    - 関連 xxvi
    - 構成 xxii?xxv
    - その他の入手 xxxiii
    - 対象読者 xxii
    - 入手方法 xxviii?xxix
    - 発注方法 xxix
    - 表記法 xxvii
    - 目的 xxii
- め
  - メンバー (VCAT)
    - サービス状態の変更 17-78
    - 削除 17-75
    - 追加 17-72
- も
  - モジュール、カードを参照
  - モニタ回線、作成 7-7
  - モニタリング
    - FC\_MR-4 カードおよびポート 9-8
    - STM-N カードおよびポート 9-7
    - イーサネット カードおよびポート 9-5
    - 選択した信号の PM カウント 21-38
    - 電気回路カードおよびポート 9-3
    - パフォーマンス、Performance Monitoring を参照
- ゆ
  - ユーザ
    - 削除 18-52, 18-53
    - 作成 17-70, 17-71

- 設定 4-4
  - パスワードおよびセキュリティの変更 18-51, 18-52
  - パスワードまたはセキュリティ設定の変更 18-51
  - 変更 11-9
  - ログアウト 20-8, 20-9
- よ
- 抑制
    - アラーム レポート 21-16
    - アラーム報告 8-11
    - アラーム抑制の中止 21-18
- ら
- ラック
    - シェルフの取り付け 17-5, 17-7
    - 設置 1-6?1-7
    - 複数のシェルフの取り付け 17-8
  - ラックへのシェルフアセンブリの取り付け
    - 1人で作業する場合 17-5
    - 2人で作業する場合 17-7
    - 複数のシェルフ 17-8
- り
- リストストラップのプラグ差し込み口 17-10
  - リスナー ポート
    - プロビジョニング 4-8
  - リセット
    - CE-100T-8 カード 18-2, 18-3
    - PM カウント 18-25
    - TCC2/TCC2P カード 17-31
    - トラフィック カード 17-32
  - リニア ADM
    - アップグレード 12-8, 13-7, 13-10, 13-13, 13-14
    - 受け入れテスト 5-12
    - ノードの削除 14-21
    - ノードの追加 14-16, 14-18
    - プロビジョニング 5-10
  - リフレッシュ
    - FC\_MR-4 カウント 21-44
    - PM カウント 19-60
    - イーサネット PM カウント 21-37
  - その他の PM カウント 18-23
  - 履歴
    - セッション エントリの最大数の変更 18-13
    - 表示 8-4
    - フィルタ パラメータの変更 21-14
  - リング
    - MS-SPRing も参照
    - SNCP も参照
    - サブテンディング リング も参照
    - リング名の設定 13-23
    - リングの試験 19-10
    - リングを対象にした STM 回線 6-117
- る
- ルーティング
    - SNCP 回線 (手動) トポロジー アップグレード 21-52, 21-53
  - ループバック
    - 2 ファイバ MS-SPRing 5-20
    - 4 ファイバ MS-SPRing 5-23
    - 『Cisco ONS 15454 SDH Troubleshooting Guide』 も参照
    - SNCP 5-32, 5-45
    - ポイントツーポイント型 5-8
    - リニア ADM 5-13
- ろ
- ロール 19-41
    - 1つの回線への2つのクロスコネク ト 19-31, 19-35, 19-38
    - クロスコネク ト 19-35, 19-38
    - 始点または終点 (特定の光回線) 19-26
    - 終点、回線間 19-29
    - トラフィックのブリッジおよびロール 7-12
    - ロールのキャンセル 19-41
    - ロールの削除 19-40
  - ログアウト
    - 単一ノードのユーザ 20-8
    - 複数ノードのユーザ 20-9
  - ログイン
    - CTC へ 17-53
    - GUI への 3-8
    - ログイン ノード グループ 作成 17-55



- 指定したグループからの削除 17-50
  - ノードの削除 14-10
  - 表示 17-55
- ログイン時の法的免責事項説明の変更 19-68
- ロック
  - CTC、ツールバーを使用 A-5
  - ノードのセキュリティ 17-85
- ロックアウト
  - クリア 19-3, 20-1
  - 適用 19-2
- ロックオン
  - クリア 19-3
- ロックオン
  - 適用 19-1

## わ

- 割り当て
  - アラーム重大度プロファイル 8-9
  - ポート名 20-8